

会議の開催結果について

- 1 会議名 平成30年度第2回上尾市図書館協議会
- 2 会議日時 平成31年1月28日(月)
午後1時30分から3時まで
- 3 開催場所 上尾市図書館 集会室
- 4 会議の議題
(1) 議事
① 新図書館複合施設建設工事の契約解除に伴う損害賠償協議の状況について
② 第2次上尾市図書館サービス計画進捗状況について
③ 第2次上尾市図書館サービス計画の見直しについて
④ その他
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由 _____
- 7 傍聴者数 10人
- 8 問い合わせ先 教育総務部図書館
(担当課)

会 議 録

会議の名称	平成30年度第2回上尾市図書館協議会	
開催日時	平成31年1月28日(月) 午後1時30分から3時まで	
開催場所	上尾市図書館 集会室	
議長(委員長)氏名	村田文生	
出席者(委員)氏名	小板橋 英雄・近藤 博昭・藤波 貢・小山 隆行・岸 清俊・星野 賢 市河 利之	
欠席者(委員)氏名	加藤 寛子・城所 典子・若松 昭子・森田 直樹	
事務局(庶務担当)	関図書館長・島田図書館次長・小森主幹・石川副主幹・中島主査・内山主査・ 重田主任・朝見主事	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 議事 ①新図書館複合施設建設工事の契約解除に伴う 損害賠償協議の状況について ②平成29年度第2次上尾市図書館サービス計画 の進捗状況について ③第2次上尾市図書館サービス計画の一部見直し について ④その他	(1) 議事 別紙「議事の経過」のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 10名
会議資料	(資料) 資料1、資料2、2-2、資料3	
議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 平成 年 月 日 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> 平成31年2月18日署名済み 議長(委員長)の署名 _____ </div>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
村田議長	(議事開始) ①新図書館複合施設建設工事の契約解除に伴う損害賠償協議の状況について事務局に説明を求める。
事務局 石川	【新図書館複合施設建設工事の契約解除に伴う損害賠償協議の状況について】 報告は次のとおり・・・資料1 ・関係する契約7本に対し業者7社、そのうち3社と協議が整っている。 ・他の4社に関しては、業者との協議が続いている。
村田議長	委員に意見を求める。 －意見なし－
村田議長	②平成29年度第2次上尾市図書館サービス計画進捗状況について事務局に説明を求める。
小森主幹 中島主査	【平成29年度第2次上尾市図書館サービス計画進捗状況について】及び第2次あげお子ども読書プランについて、資料をもとに平成28年度の実施状況を踏まえ、平成29年度の実績と今後の方向性を主な項目を挙げ説明を行う。 ・・・資料2、資料2-2
村田議長	委員に質問を求める。
岸委員	2点質問する。1点目、上尾市図書館サービス計画の進捗状況は、平成28年度のもの図書館ホームページに掲載されているが、平成29年度についても掲載するのか。 2点目、資料2の2頁の「レファレンスサービスのPR」の項目に、「平成29年度の実績」として、「上尾市について調べものに役立つパンフレットを作成した」とある。 これについては、同頁の「パスファインダーの作成・公開」の項目に、「平成29年度の実績」として掲げられている、「パスファインダーの提供の検討」の部分、この「パスファインダー」として応用できているものではないかと考えるが、いかがか。
島田次長	1点目の、平成29年度の上尾市図書館サービス計画進捗状況の図書館ホームページの掲載については、今回の図書館協議会で報告させていただいた上で、速やかに公開する予定である。
小森主幹	2点目の、「上尾市について調べものに役立つパンフレットを作成した」については、上尾市に関する調べものの問い合わせがあった場合に備えて、図書館側が対応として提示できるようにするための資料として作成したものであり、内部的にはレファレンスブックのような形で利用しているものである。
岸委員	そのような状況であれば、「パスファインダーの提供の検討」として応用できているのではと考える。
島田次長	いただいた意見を参考に、実施できているという位置づけで修正することは可能なので、掲載内容について事務局で検討したい。

小山委員	実績の数値についてであるが、資料2の各項目で、平成28年度から平成29年度について、数値の減少が見受けられる。それらの数字の推移に対して、何か検討を行っているのか。
島田次長	図書館の実績には、例えば蔵書数、資料貸出数といった項目があり、様々な数値をもとに分析・検討を行っているが、なかでも資料貸出数の減少については、要因として、来館者数が減っているという事実など挙げられる。 本の貸出しは図書館の根幹業務の一つであるが、まず利用者に来館していただくという前提があり、その来館者数が、実際には減ってきている。 このような現状を踏まえ、図書館の利用を増やしていく方法として、情報化・ICT化が進んでいる現在において、電子図書などの非来館型のサービスもあるので、そのようなサービスも検討しながら、図書館の利用PRも工夫するなど、新たな幅広い情報提供の仕方を検討しなければならないと考えている。
星野委員	読書パスポートの配布は増えている傾向か。 読書パスポートの配布を行うことで読書推進につながっているのか。
島田次長	小さい頃から読書に慣れ親しんでもらうために、図書館では4か月児健診時に絵本を配布するブックスタート事業を行い、その次の段階として、新1年生に読書パスポートを配布するセカンドブックスタート事業を行っている。 読書パスポートには読書記録、スタンプラリー、図書館の使い方などを記入することができ、子供たちには自分だけのパスポートを持ってもらうことで、より図書館の利用を促進できるような手段として活用してもらっている。 現在、配布している新1年生の数が少子化の影響で減ってきているため、配布数も減ってきている。 図書館及び学校図書室の利用を増やすために、今後、事業の展開と新たな取り組みを検討し、パスポートを片手に図書館で行われる事業に多くの児童が参加してもらえるよう考えていきたい。
近藤委員	利用者が減っている現状がある一方で、今後、来館しなくても図書館を利用できるサービスが増えていく、ということになると、図書館の新しい利用の仕方・在り方について、影響を与えるものと考え。 早いうちに調査を行い、体系的にまとめていただけると、今後の図書館運営にインパクトを与えるものになると思う。 読書パスポートの評価は高いと考える。夏休みなど長期間の休みに、子供同士でスタンプ集めや、図書館に来れば友達に会えるなど、図書館に足を運ばせるものとして有効的であると期待している。
村田議長	学校にいる図書支援員は何人いるのか。
島田次長	小学校は、22校に対し22名。 中学校は、11校に対し3名が、複数校を兼務する形で対応している。
村田議長	新図書館複合施設の見直しが、図書館サービス計画に影響はなかったのか。
関館長	新図書館複合施設建設の見直しに伴い、新図書館を建設することを前提とした図書館サービス計画の内容に関して削除及び変更をかけた。 平成32年度には、次の図書館サービス計画を精査していかなくてはならない現

	<p>状もあり、近藤委員から意見がありましたように、今後の図書館への方向性につきましても、市民の方から意見をいただいて検討していかななくてはならない。私見ではあるが、社会教育施設のどこも数が落ちてきていることから、数で評価するよりは、質を評価した方がいいのではないのかと考える。そういったことを含めながら第3次上尾市図書館サービス計画にあたるものを検討したいと考えている。</p>
村田議長	次に、③第2次上尾市図書館サービス計画の一部見直しについて事務局に説明を求める。
内山主査	【第2次上尾市図書館サービス計画の一部見直しについて】資料をもとに説明を行う。・・・資料3
村田議長	委員に意見を求める。
近藤委員	<p>このサービス計画は、「このように事業を展開できれば、市民にとって充実した図書サービスを提供できる」ということに基づいて事業計画を立て、まとめたものと認識している。また、私たち委員もそれに基づき話し合いを重ねたように記憶している。</p> <p>そして、これらの内容を理想として掲げ、これが展開できれば、というところで、その主たる施設が頓挫してしまった。</p> <p>このような背景があることから、「文言の訂正で表現はできるものの、物理的な状況によって実現できない可能性もある」という部分も多々あるのではないのか、ということを危惧している。</p> <p>その点に関してどのようにお考えか、方向性や姿勢をお聞かせいただきたい。</p>
関館長	<p>図書館サービス計画は5年計画であり、平成32年度までにできることは何かという意味合いの中での計画である。当然、その中には積み残しがでてくるが、今後の課題として残していくのも一つの方法であると考えている。</p> <p>今後、方向性が示されてくる中で、どういう器の中でどういうことができるのかを踏まえ、新計画の方向性を検討し、市民の意見を聞きながら、また市町村の公共図書館の基準を斟酌しながら、上尾市の図書館として有効なものができるよう考えていきたい。</p> <p>平成32年度には新計画にあたるものの策定をしなくてはならない。計画の内容を検証し、図書館の在り方を検討していく。</p>
岸委員	資料3の第2次上尾市図書館サービス計画改定新旧対照表3ページの①広報活動の充実にある「レファレンスカウンターをフロアを中心部に設置する」等は対応できるのか。
島田次長	大規模な改修を行えば、対応できる目標ではあるが、現実的に不可能であるので、削除又は修正をかける。
星野委員	図書館サービス計画にある、「高齢社会における図書館」の「居場所としての図書館」について、高齢者に対し、アンケートを行い、多くの意見・希望をいただいているのか。
島田次長	高齢者には限らないのですが、過去のアンケートの中でも本を読む・借りるだけでない居心地のよい場所としての利用の要望がでてきている。特に高齢の方から

	<p>も、居場所づくり、交流の場としての図書館利用の要望があると認識している。集会室は本来、図書館事業のために設置したのですが、学生からの要望を受け、学習室として開放することになっている。本来の図書館としての機能以外の要望もあり、図書館も応えていかなくてはならない状況になっている。様々な観点で、検討していく必要があると考えている。</p>
近藤委員	<p>様々なところで複合化施設をたくさん作っていることは、決して悪いことだとは思わない。先程の図書館の使い道に対しても、複合化施設が解決できるのではないかと考える。複合化により経済的な負担を抑えられ、その施設で様々な要望に応えられるなど、利用目的としては非常に幅広い施設になる。</p> <p>こういったものを模索していかなくてはならない時代になってきている。</p> <p>また、岸委員の意見にもあったように、図書館サービス計画の中の物理的な課題に対し文言だけの訂正を行い、多少手を加えただけの取り組みで、本当に計画を達成できたといえるものなのか。文言の訂正だけではなく、事業内容の再度見直しも考えてほしい。</p>
藤波委員	<p>私は、子ども会育成連合会の立場から、新図書館複合施設の見直しは、とても残念と思っている。</p> <p>上尾市には子供支援のための複合施設が必要であると考えてるので、検討を願う。</p>
市河委員	<p>今、私たちに求められているのは、平成32年度に向けての新しい図書館サービス計画を作ることではないかと考える。いろいろな立場の議員の意見を取り入れていきながら方向性を検討していただければと考えている。</p>
村田議長	<p>以上で予定された議事・報告は終了とする。</p>
小森主幹	<p>事務局から報告は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会委員の任期については、平成31年7月31日まで
島田次長	<p>以上をもって、協議会を終了する。</p>